

令和8年度予算見積調書

課室名: 疾病対策課
担当名: 精神保健担当
内線: 3565

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S194	地域精神保健対策費			一般会計	衛生費	保健所費	保健所費	精神保健対策費		
事業期間	平成6年度～	根拠法	地域保健法第6条、精神保健福祉法第47条、48条 埼玉県ひきこもり支援に関する条例	針路分野施策	070703	誰もが活躍し共に生きる社会の実現 障害者の自立・生活支援		SDGsゴール	3	SDGsターゲット3-4
1 事業概要	<p>精神障害者の社会復帰には困難を伴うため、住み慣れた地域において相談訪問指導等を行う必要がある。このため、地域精神保健の中核機関である保健所において、精神障害者社会復帰相談事業及び相談・訪問指導事業を実施し、社会復帰の促進を図る。</p> <p>ア 精神障害者社会復帰相談事業 22千円 イ 精神保健相談事業・訪問相談指導事業 4,272千円</p>									
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 精神障害者社会復帰相談事業 22千円 精神障害者の社会復帰を図るためのグループ活動や研修会を実施する。</p> <p>イ 精神保健相談事業・訪問相談指導事業 4,272千円 保健所嘱託医師による精神保健相談、精神障害者及びその家族に対する訪問相談を通して、受診援助等の保健指導を行う。臨床心理士等の専門職による相談を実施する。ひきこもり家族会等を開催する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 保健所においてグループ活動を実施する。(月1回) イ 精神科病院または診療所等の精神科医師による相談を実施する。(随時) 保健師、精神保健福祉士、臨床心理士等による相談・訪問活動を実施する。(月1回) ひきこもり家族会等を開催する。(随時)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>【アウトプット】 ・社会復帰のためのグループ活動、研修会を実施する。 ・精神障害者及びその家族に対し、訪問相談等による保健指導を行う。</p> <p>【アウトカム】 ・ひきこもりの方が住み慣れた地域で社会復帰できる。</p> <p>(4) その他(前年度からの変更点)</p> <p>保健所嘱託医師及び保健所臨床心理士等による相談回数の見直し ひきこもり家族会等の単価及び回数の見直し 精神障害者社会復帰相談事業の会場借り上げ料の見直し</p>									
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円										

予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	4,294							4,294	0
前年額	4,294							4,294	

事業内訳書

事業名	地域精神保健対策費		
単位事業名	精神障害者社会復帰相談事業（疾病対策課）	予算額	22千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	22	0	
合計	22	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	22	0	訪問指導
合計	22	0	

単位事業名	精神保健相談指導・訪問相談指導事業（疾病対策課）	予算額	4,272千円
-------	--------------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	4,272	0	
合計	4,272	0	

単位事業名	精神保健相談指導・訪問相談指導事業（疾病対策課）	予算額	4,272千円
-------	--------------------------	-----	---------

○歳出

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	3,710	0	保健所嘱託医師 143回分 保健所臨床心理士 104回分 保健所ひきこもり家族会等 45回分
旅費	510	0	訪問指導
役務費	52	0	電話、郵券等
合計	4,272	0	